

# 自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 旭硝子株式会社高砂工場

## 1 環境保全活動に関する方針等

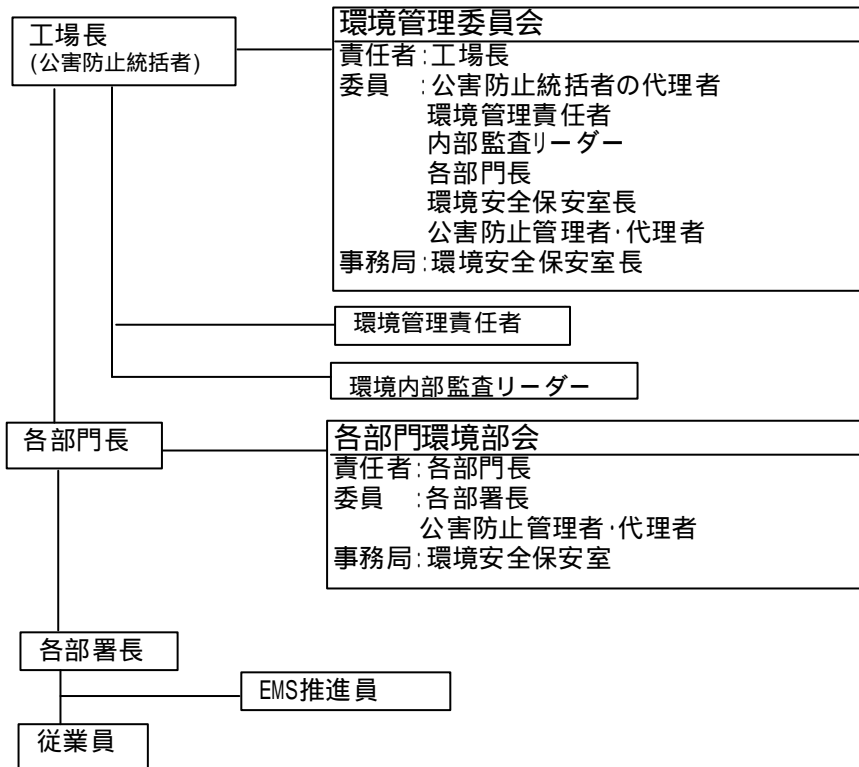
### 1 - 1 環境保全活動に関する方針

【添付資料1】のとおり

(目標・計画等の公表の方法についても記載すること)

### 1 - 2 環境保全活動に関する組織体制

以下の組織体制で推進している



2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画
エネルギー対策(地球温暖化対策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2009年度工場CO<sub>2</sub>排出量実績は、同年計画に対しては7.8%削減したものの前年より生産回復基調にて対前年排出量では20%増となった。(対1990年比=53%)</li> <li>・省エネタスクチームは、2009年度着眼ポイントとして照明・空調機器の電力削減に取り組み、結果『3000MW/年の電力削減』を実現した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、工場全体の「照明、空調機器の電力削減」に注力。(2010年、2000MW/年削減チャレンジ)</li> </ul>
廃棄物の対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2009年度排出量は、AGCは対前年22.4%削減、AGCはほぼ横這い。</li> <li>・2009年度リサイクル率は、AGCは引き続き100%を維持、AGCCは対前年1.9ポイント改善し97%であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排出量削減として「製造窯の集塵ダスト削減」に注力。</li> </ul>
環境事故予防処置の対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「環境リスクアセスメント導入」による作業・施設等に係る環境事故予防処置の強化。(環境方針に組み込み)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「重大リスク」を優先した予防対策の推進。</li> </ul>
化学物質の対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化管法改正(2008/11)に伴う原材料関係のMSDS再取得を行い、PRTR制度対象物質の再調査を行った。(法改正並びにPRTR制度の教育も実施)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2010/4～、化管法改正後のPRTR取扱量並びに移動・排出量の管理を開始する。</li> </ul>

【添付資料1】

旭硝子高砂工場環境方針  
EM1-01:01(第10版)

旭硝子高砂工場は、ディスプレイ用ガラス、半導体製造装置用部材、セラミックス製品等を製造しており、比較的大量の資源・エネルギーを使用する事業活動を行っています。

このことをよく認識し、A G Cグループ環境基本方針に沿って、環境管理システム(E M S)を構築・運用し、限りある資源・エネルギーを有効に使い気候変動並びに生物多様性をも含む自然環境への影響に配慮し、以下の活動を展開します。

1. 環境管理システム(E M S)に基づいて、大気汚染・水質汚濁の予防、省資源・省エネルギー及び廃棄物の削減・リサイクル化等環境影響の軽減のための活動を推進します。
2. 環境保全に関する法令、条例及び協定等を順守するとともに、必要なときは環境影響の軽減に関する自主管理基準等を設定し、その達成に向けて努力します。
3. 環境影響の軽減に当たっては、環境リスクアセスメントの仕組みを構築し、できる限り定量的な環境目的、環境目標を設定し、その達成のために、環境改善推進計画を作成し、活動します。
4. 環境方針と環境目的・環境目標については、定期的な見直しを行い、環境管理システムの継続的な改善に努め、その有効性の維持・向上を図ります。
5. 工場で働くすべての人々に対して、この環境方針を周知するとともに、一人ひとりが環境方針に基づき行動するよう、必要な教育・訓練を行います。  
また、この環境方針は、要請に応じて社外に開示します。

2010年1月1日  
旭硝子株式会社高砂工場  
工場長